

# 検証総括委員会を機能させよ！ ゼロネットが花角知事に要望書提出

世界最大の柏崎刈羽原発を抱える新潟県と新潟県民は、福島原発事故を検証しその教訓を活かすための「三つの検証」を誇りに思い、大切にしてきました。

さらに知事は、「検証総括は県が行う」と発表。外部有識者による客観的な検証の性格をも変えてしまう花角知事の決定を認めるわけにはいきません。

いよいよ検証総括委員会による検証総括が本格化する最終段階を迎えた時に、花角知事は委員全員を不信任とし、任期切れによる自然消滅という姑息な手段を使って、検証総括委員会を無きものにしてしまいました。これは、「三つの検証体制」そのものを壊す重大なことです。

そこで、原発ゼロ長岡市民ネットは5月29日に、花角知事宛に要望書を提出しました。（裏面に全文を掲載してありますのでご覧ください。）

なお、「担当課が事務的に処理することなく、必ず知事に届けてほしい」という切なる思いを申し添えて送りました。

## 「米山隆一さんと検証総括を語る会」

☆とき 6月24日(土)

午後1時半～3時半

☆ところ まちなかキャンパス 5F



\*検証総括委を立ち上げた前知事米山さんと語り合います。  
（詳しくは同封のチラシをご覧ください。）

### ◆原発回帰に大転換する原発推進法の成立に抗議し、撤回を求めます◆

5月31日の参院本会議で、原発最大限活用、60年超の老朽原発の運転も可能にする原発推進等5法が、自民、公明、維新、国民の各党などの賛成多数で可決成立。立民、共産は反対。

### 「岸田政権の新・原発推進政策の撤回を求める全国署名」に

ご協力ください。※同封の署名用紙で周りの人に呼びかけましょう。最終集約は12月末日です

### 柏崎刈羽原発の地盤は大丈夫？

6月4日、「柏崎刈羽原発市民研究会」が主催して、原発地盤を学ぶ地層の見学会が柏崎市で開かれました。20年以上前（活断層ではない）高位段丘である青海川層が見える2カ所で、「柏崎刈羽原発活断層問題研究会」の専門家の解説を聞き学びました。

#### 【参加したひろりんさんの感想】

「豆腐の上の原発」と言われ不安を感じている柏崎刈羽原発の地層に関する見学会があると聞き、参加してきました。現場での学習体験は、原発賛成者やよくわからんという方に説明するとき、私を下支えしてくれると考えたからです。参加してよかったです。

現場は鯨波駅近くの米田珈琲店から5分くらいのところ。頂いた資料と事前学習とで、岩石・地層に弱い私もついていくことができました。幾重にも重なる地層に、20万年という悠久の時の流れとそれを研究してこられた方々の地道な努力を思いました。

高位段丘の特徴である赤色化した粘土層や腐り礫を目と手で確認。東電が、地盤は強固で古いとする段丘にはその特徴がないと言います。

東電がグズグズとしていて調査資料を出さないのは、本当は弱い地盤を隠していると考えられると言います。私たちが諦めること・忘れることを待っていないのではないか。いろいろな方々と手をつないで負けずに追求していきます。手をふやしていきます。



古い地層の特徴を学ぶ

7月の「再稼働NO! アオーレ前11日行動」は7月11日(火)16時～16時半です。ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第135号 2023年6月12日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707